



イーソル株式会社 2025年12月期 第2四半期決算説明資料

2025年 8月 8日



Agenda

1. 2025年12月期 第2四半期決算概要
2. 最近のプレスから
3. 会社概要

2025年12月期 第2四半期決算概要

今期計画の概要（2025年2月14日発表）

- 組込みソフトウェア事業のエンジニアリングサービスを中心に増収の計画
- 利益は2024年の持分法適用関連会社(オーバス社)の解消に伴う未実現利益等の一時的な会計処理がなくなることで減少するものの、通常事業領域においては実質的な成長が継続

(百万円)

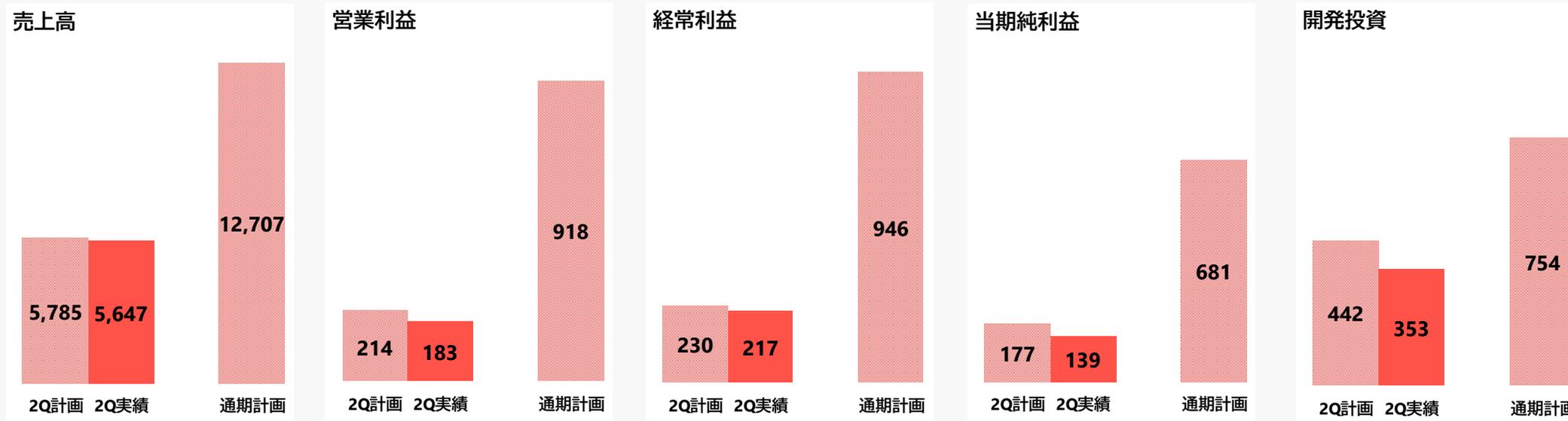
	2024年	2025年 (計画)	2025年		上期	下期
			増減	増減率		
売上高	11,908	12,707	+799	+6.7%	5,785	6,921
営業利益	1,113	918	▲194	▲17.5%	214	703
経常利益	1,163	946	▲217	▲18.7%	230	716
当期純利益	892	681	▲210	▲23.6%	177	503

決算の概要(計画値の進捗)

売上高／利益とも計画に対しわずかに未達も、一部
 売上の下期へのスライドなどによるもので、通期計
 画の変更は無し

(百万円)

科目	2025年第2四半期		増減額	増減率
	計画	実績		
売上高	5,785	5,647	▲138	▲2.4%
営業利益	214	183	▲31	▲14.7%
経常利益	230	217	▲13	▲5.7%
当期純利益	177	139	▲38	▲21.6%



決算の概要(前年同期比)

エンジニアリングサービスが大きく伸長し、前期の一時的利益要因(ライセンス収入と未実現利益)分をほぼカバーし、前期特殊要因を差し引けば実質的に大幅増収

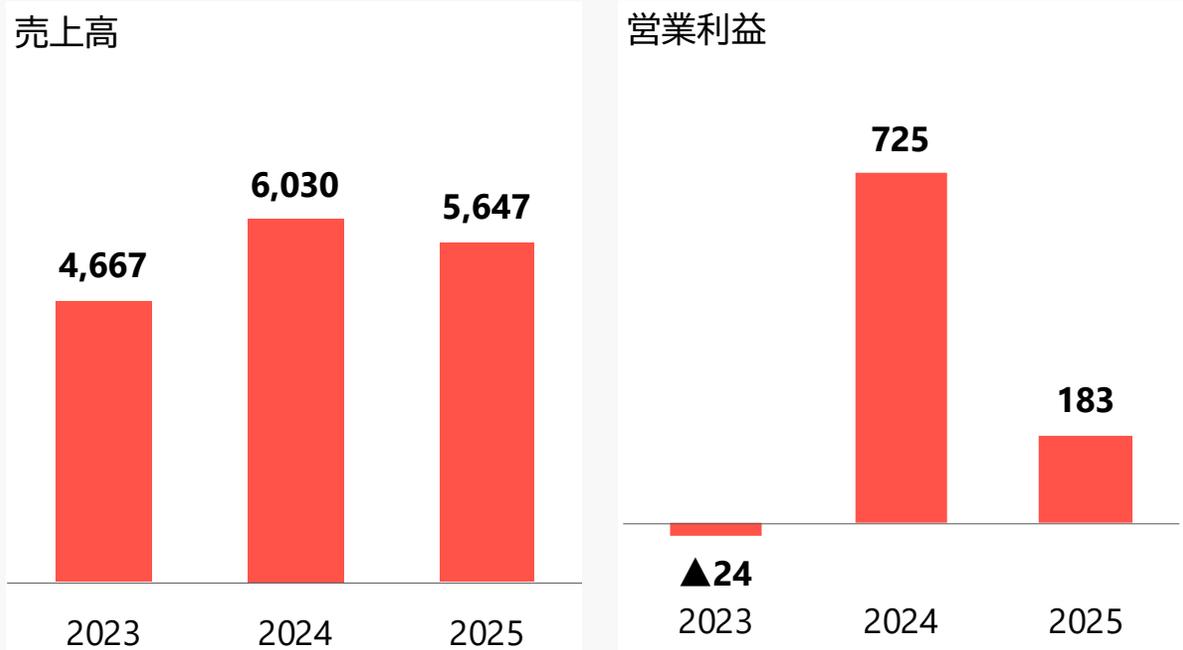
	(百万円)			
	2024年 第2四半期	2025年 第2四半期	増減額	増減率
売上高	6,030	5,647	▲383	▲6.4%
売上原価	3,605	4,023	+418	+11.6%
リビジョンアップ	301	128	▲173	▲57.5%
売上総利益	2,425	1,623	▲801	▲33.1%
販売費及び一般管理費	1,700	1,440	▲259	▲15.3%
研究開発費	528	225	▲303	▲57.4%
営業利益	725	183	▲542	▲74.7%
経常利益	760	217	▲543	▲71.4%
当期純利益	570	139	▲430	▲75.5%

セグメント別	(百万円)			
	2024年 第2四半期	2025年 第2四半期	増減額	増減率
組込みソフトウェア事業	5,558	5,380	▲177	▲3.2%
組込みソフトウェア製品	1,462	715	▲747	▲51.1%
エンジニアリングサービス	4,095	4,665	+569	+13.9%
センシングソリューション事業	308	266	▲41	▲13.5%
連結調整	164	-	▲164	-

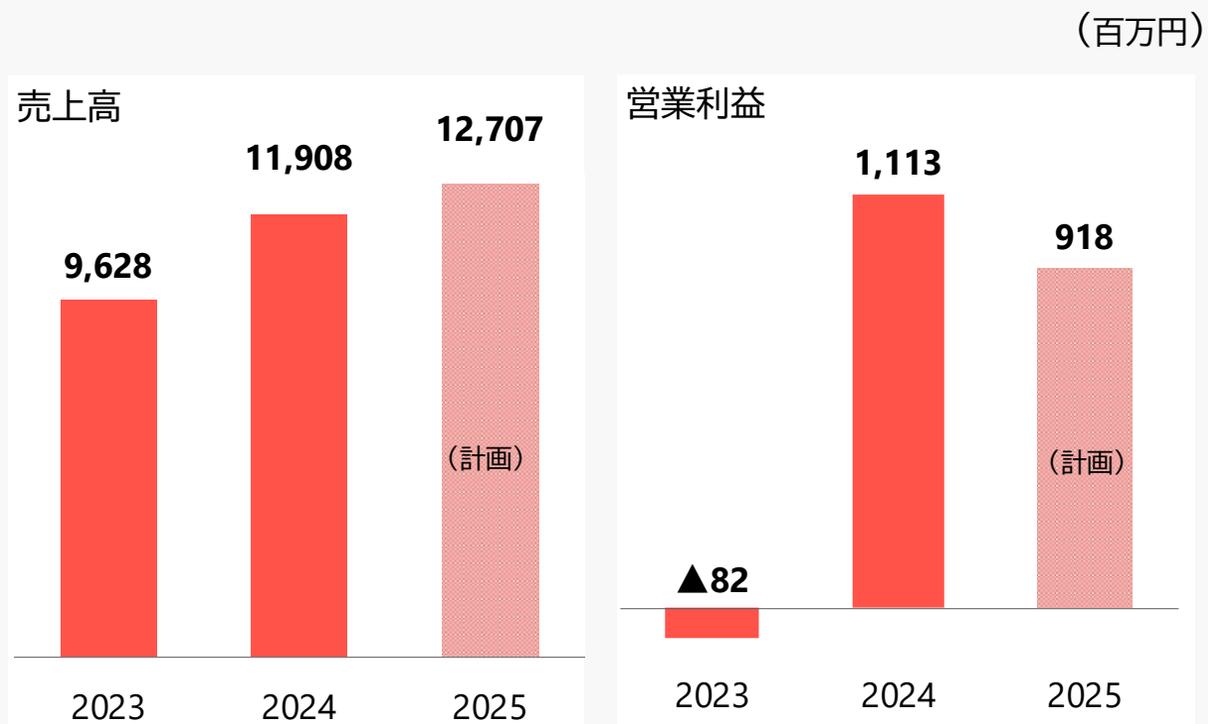
セグメント別	(百万円)			
	2024年 第2四半期	2025年 第2四半期	増減額	増減率
組込みソフトウェア事業	544	194	▲350	▲64.3%
センシングソリューション事業	11	▲11	▲22	-
連結調整	168	-	▲168	-

決算の概要(業績の推移)

2期連続の安定的な黒字を確保



2Q



通期

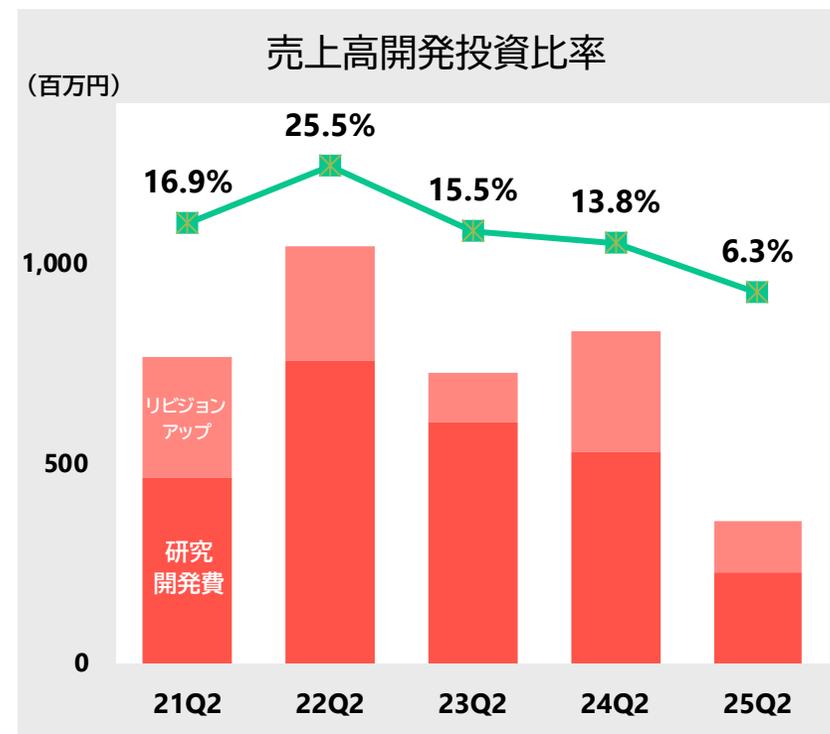
開発投資の状況(前年同期比)

今期は戦略的なパートナーであるユーザーからのファンディング的エンジニアリングサービスの増加により、開発投資額は削減するが、実際的な製品力の向上を継続

(百万円)

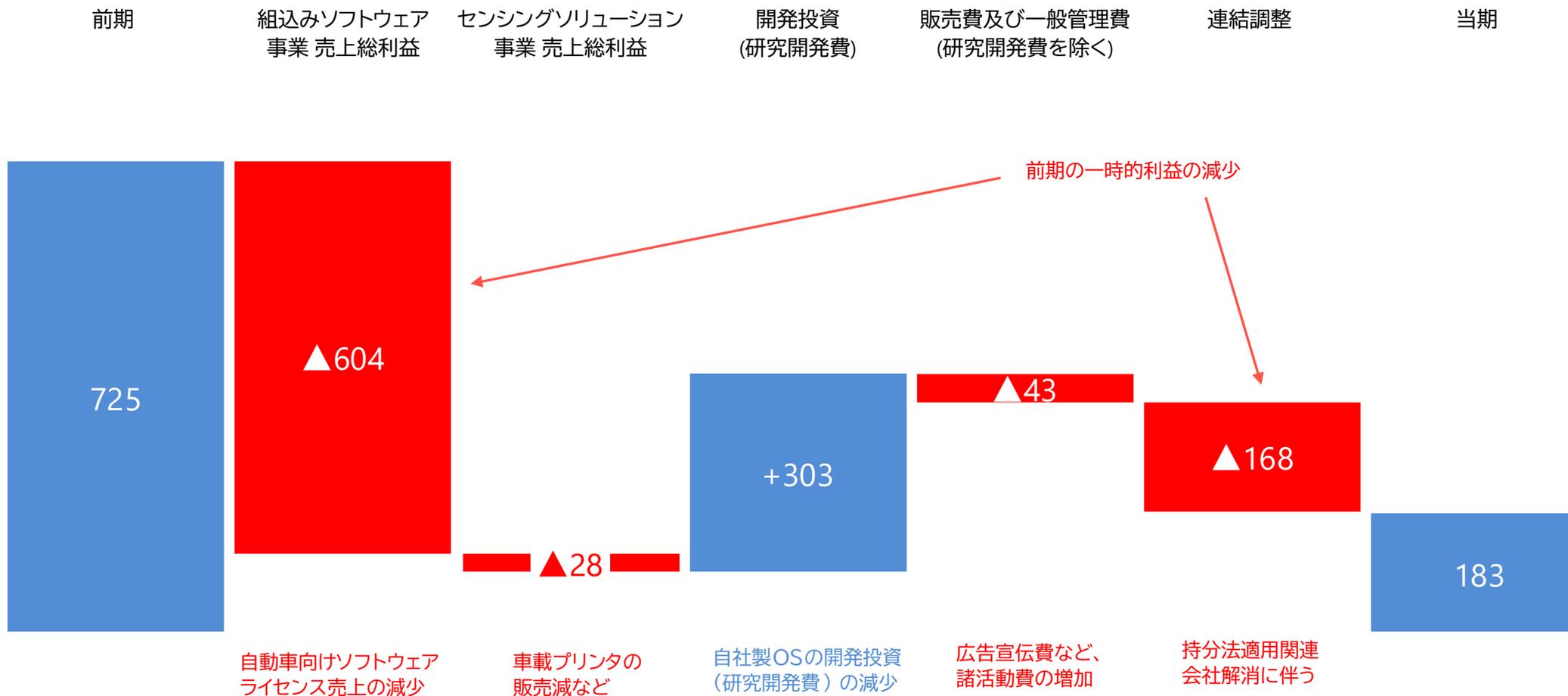
	2024年 第2四半期	2025年 第2四半期	増減額	増減率
売上高	6,030	5,647	▲383	▲6.4%
開発投資額	829	353	▲476	▲57.4%
研究開発費	528	225	▲303	▲57.4%
リビジョンアップ	301	128	▲173	▲57.5%
売上高開発投資比率	13.8%	6.3%	-	-

研究開発費	- 新規製品の開発に対する投資 - 販売費に計上
リビジョンアップ	- 既存製品のバージョンアップに対する投資 - 売上原価に計上



営業利益の増減要因(前年同期比)

(百万円)

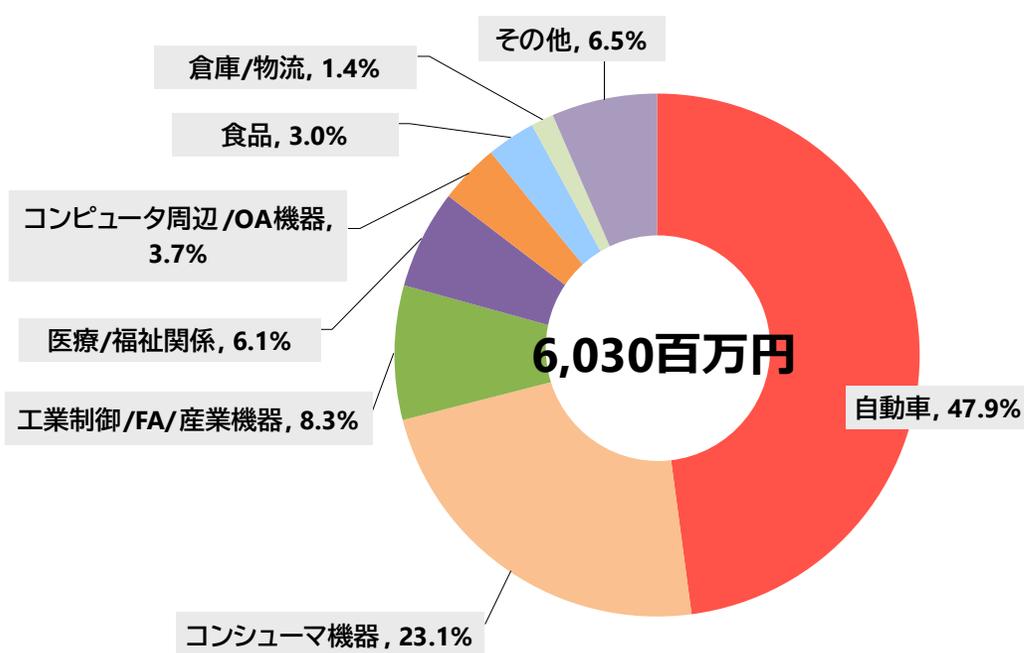


得意先セクター別の売上割合(前年同期比)

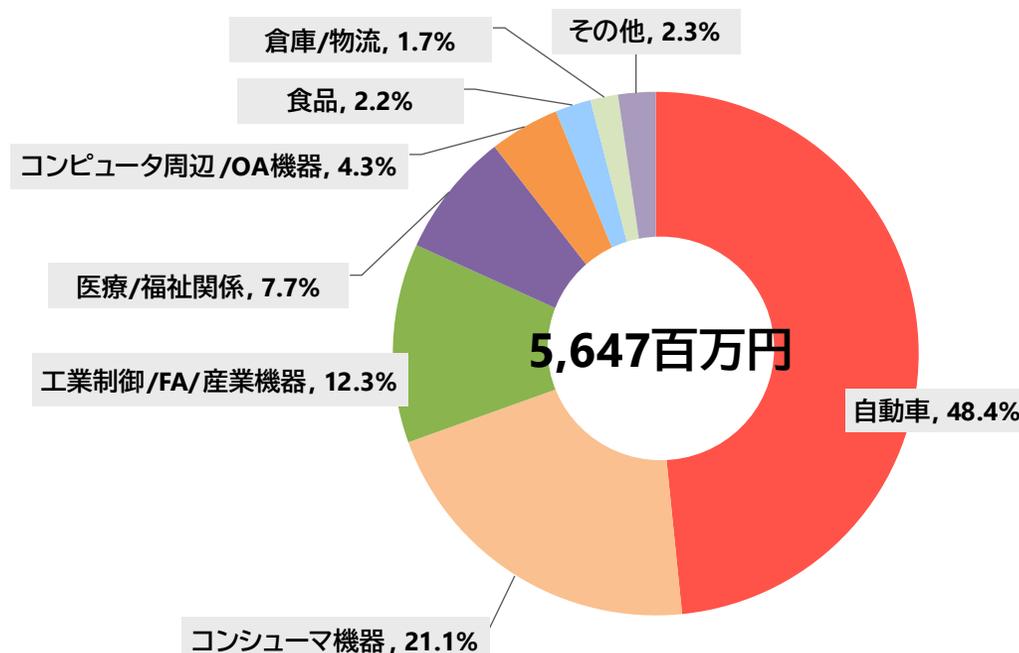
安定的に自動車セクター約50%、残り50%を幅広いセクターで構成

当社技術は幅広いセクターで使用されています。
主要取引先は、当社サイトをご覧ください。

<https://www.esol.co.jp/company/profile.html>



2024年 第2四半期



2025年 第2四半期

株主還元

当面は従来方針を継続しますが、本年4月30日公表の中期経営計画にそって、見直しを検討中

- 本年度の配当政策としては財務基盤の安定化、安定的配当、内部留保による企業価値向上施策への投資を基本とする
- 配当額は前年度同額を計画
- 投資の効果を踏まえ、将来的に配当を強化

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1株当たり配当金	5.50円	5.50円	5.50円	5.50円	5.50円
(うち中間配当金)	(1.50円)	(1.50円)	(1.50円)	(1.50円)	(1.50円)
配当性向	55.8%	-	82.1%	12.0%	15.3%

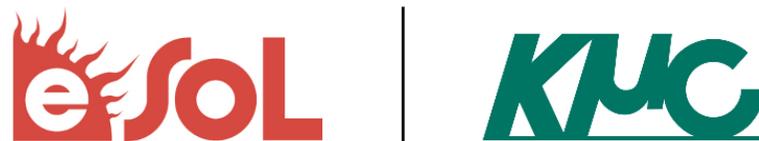
計画

最近のプレスから

京都マイクロコンピュータ社を完全子会社化 (1/3)

2025年 8月 8日発表

本年10月 1日付けでeSOL OS技術とシナジー効果が非常に高い技術をもつ、
京都マイクロコンピュータ社(KMC)を完全子会社化し、eSOLグループへジョイン



eSOLの技術とKMCの技術を組み合わせ、技術力強化と業績拡大を図る

IR資料 → <https://www.esol.co.jp/ir/>

京都マイクロコンピュータ社を完全子会社化 (2/3)

中期経営計画 (eSOL Reborn 2030 - Strategic Business Plan) の推進

フルスタックエンジニアリングを実現するための攻めの資本政策の実践

Core Strategies

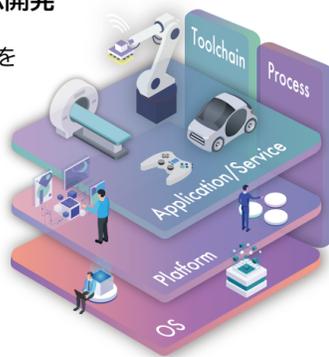
SWOT
1,2,3,4,5,6,7

■ Product/Service Development

I. Full Stack Engineering (FSE)によるカスタムプラットフォーム開発

eSOLは「良いコンピュータ」をつくるフルスタックエンジニアリング(FSE)を提供する新時代の OS ベンダー

- 良いコンピュータ=良いソフトウェア+良いハードウェア
- 良いソフトウェア=ハードウェアに最適かつ再利用性が高くスケーラブル
- そのためにはハードウェアの接点となるOS、スケーラビリティのためのプラットフォーム、アプリケーションレイヤ、継続的に高効率な開発を生むツールチェーンとプロセスが統合される必要がある
- OS/Platform/Application/Toolchain/Processの各技術階層 = スタックをフルに統合するのがeSOLのフルスタックエンジニアリング(FSE)



© 2025 eSOL Co., Ltd. All rights reserved.

15

Core Strategies

SWOT
8

■ People/Organization

VI. 攻めの資本政策の実践

- SBP Phase 1 (2025~2027) **資本提携の積極的推進**
- SBP Phase 2 (2028~) 配当の強化
- これらのフェーズに必要以上に縛らず、積極的かつアジャイルに推進する



© 2025 eSOL Co., Ltd. All rights reserved.

26

中期経営計画 (eSOL Reborn 2030 - Strategic Business Plan) → <https://ssl4.eir-parts.net/doc/4420/tdnet/2600567/00.pdf>

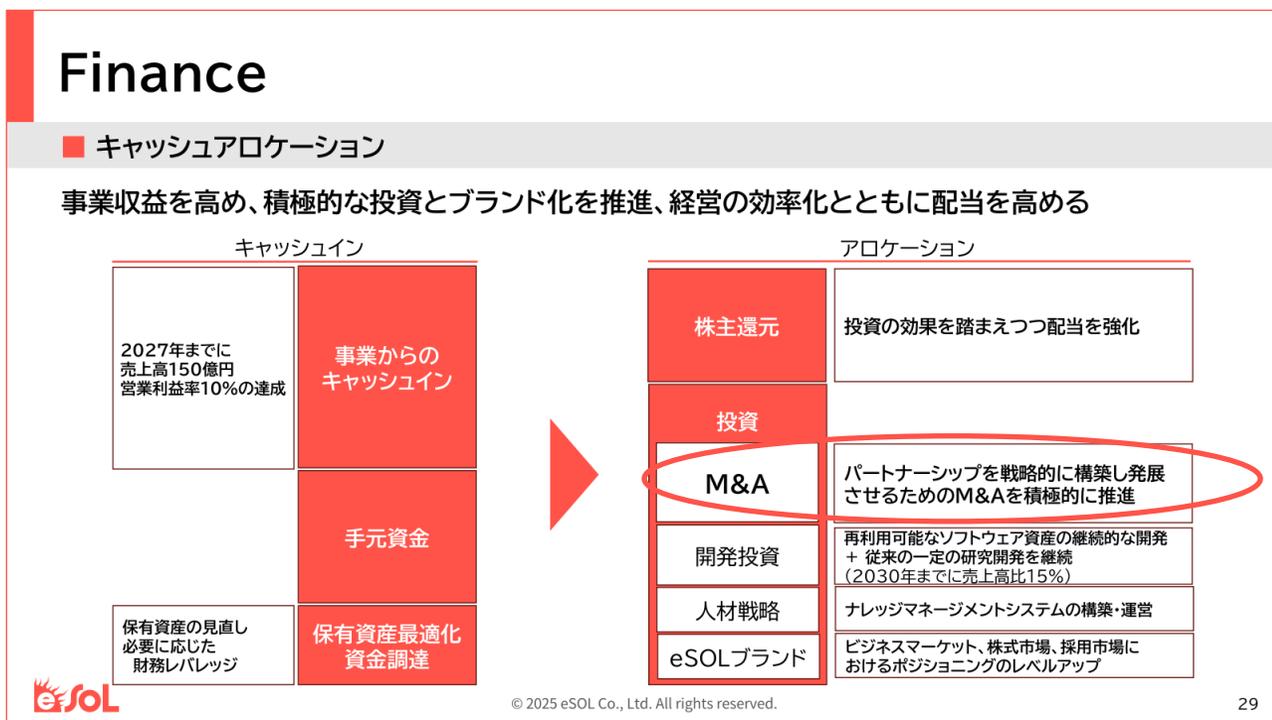


© 2025 eSOL Co., Ltd. All rights reserved.

14

京都マイクロコンピュータ社を完全子会社化 (3/3)

中期経営計画 (eSOL Reborn 2030 - Strategic Business Plan) の推進



「質」(技術)に加え、「量」(業績)を見据えた展開

中期経営計画 (eSOL Reborn 2030 - Strategic Business Plan) → <https://ssl4.eir-parts.net/doc/4420/tdnet/2600567/00.pdf>

NEDO*公募「ポスト5G、ロボティクス分野」の委託先に決定

～ 信頼性の異なるアプリケーションを混在させることができるリアルタイムROS環境の構築 ～

*国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

2025年 8月 8日発表

NEDOの委託事業「ポスト5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業／ロボティクス分野におけるソフトウェア開発基盤構築」の公募に、国立研究開発法人産業技術総合研究所などと共同で提案・応募し、委託予定先として採択

PR資料 → https://www.esol.co.jp/press/press_753.html

近年の国家プロジェクト実績

年	開発の内容
2020年	高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発／革新的AIエッジコンピューティング技術の開発
2018年	セキュアオープンアーキテクチャ向けコンパイラバックエンドおよび対応ランタイム環境の設計・開発（RISC-Vに関する開発）
	スケーラブルなエッジHCPを実現するOS統合型プラットフォームの研究開発（AI-edgeに関する開発）

RISC-V デザインセンターとRISC-Vの活用・普及で連携

2025年 8月 5日発表

新システムビジョン研究開発機構が運営するRISC-Vデザインセンターと次世代プロセッサ設計規格RISC-V(リスクファイブ)の活用と普及で連携し、SDx時代に重要なFull Stack Engineeringを提供し、RISC-V製品の差別化・高付加価値化による国際競争力強化を推進



RISC-V
DESIGN CENTER

PR資料 → https://www.esol.co.jp/press/press_752.html

中期経営計画 eSOL Reborn 2030 - Strategic Business Plan

2025年 4月30日発表

- 目標実現のための11の戦略（Core Strategies）を設定
- 2030年までの財務目標を設定
- 投資の効果を踏まえ、段階的に配当を強化



イーソル株式会社 東証スタンダード 4420
中期経営計画
eSOL Reborn 2030 - Strategic Business Plan

代表取締役社長CEO兼CTO
権藤 正樹
2025年 4月30日



© 2025 eSOL Co., Ltd. All rights reserved.

発表説明資料 → <https://ssl4.eir-parts.net/doc/4420/tdnet/2600567/00.pdf>

説明会動画配信 → https://www.bridge-salon.jp/streaming/movie/4420_20250430.html

会社概要

私たちは世界の人々のための
サイバーフィジカル社会を実現する
ワールドクラスの
フルスタックエンジニアリング企業です。

Top message

■ 世界のサイバーフィジカル社会をFull Stack Engineeringで実現する新時代のOSベンダー

eSOLは、1975年の設立以来、産業機器、医療機器、デジタル家電、航空宇宙、そして車載機器と多くの組み込みシステムのソフトウェア開発で実績を重ねてまいりました。

当社の大きな強みの一つはOS技術です。独自OSであるeMCOSは世界でも最も進んだマルチカーネルやユニカーネルというOS技術を導入しています。また、その知見を活かし、特定顧客向けのプラットフォーム開発も数多く手がけてまいりました。また、AUTOSARやROSなどの業界標準技術の仕様策定活動への参画と併せ、関連する技術を用いたプラットフォーム開発も多数行っています。これらの実績と技術知見は、昨今のSDxによるモノづくりに必要不可欠な要素であり、OSからアプリケーションまでのフルスタックの技術知見は当社の大きなアドバンテージです。特に、その先端を行くSDVの開発において、当社には大きな期待が寄せられています。

近年、ネットワーク技術、クラウドコンピューティングの普及、さらにはAI技術の進化により、サイバー空間がさらに進化したつあります。コンピューティング技術がより社会に貢献するには、サイバーの空間をフィジカルな物理の空間と融合していくことが必要です。このフィジカルの空間のコンピューティングは、従来、組み込みシステムと呼ばれた領域であり、近年ではIoT、エッジなどの言葉も使われますが、eSOLが長年技術を蓄積して来た技術領域です。

このサイバーとフィジカルを繋いだサイバーフィジカルシステム(CPS)による新しい社会の実現に向け、eSOLはFull Stack Engineeringを提供する新時代のOSベンダーとして、モノづくりを行う世界のメーカー様を支え、社会の持続的な発展に貢献してまいります。



おかげさまで、eSOLは今年創業50周年を迎えます。
Full Stack Engineeringを提供する新時代のOSベンダーとして、
社会の持続的な発展に貢献してまいります。



Mission

私たちは、革新的なコンピュータテクノロジーによって、市場を創造し、社会を豊かにすることを使命とします。

Vision

私たちは、ワールドクラスのフルスタックエンジニアリング企業として世界の人々のためのサイバーフィジカル社会を実現します。

Value

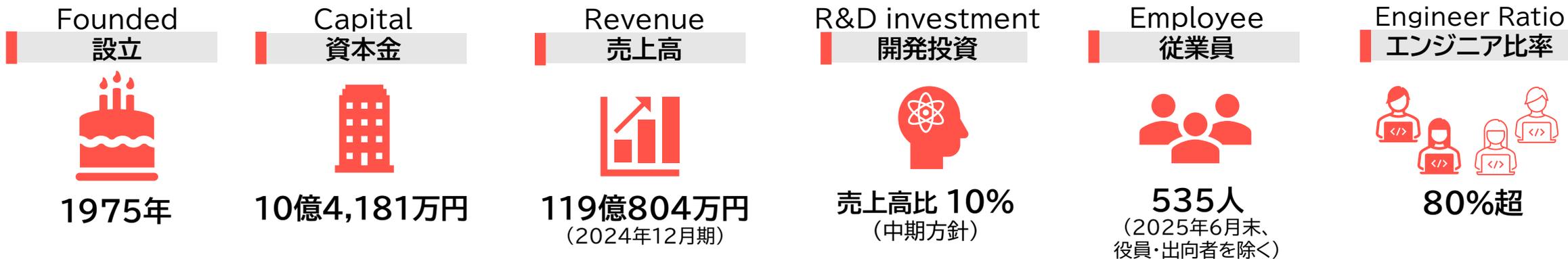
ワールドクラスのフルスタックエンジニアリング技術



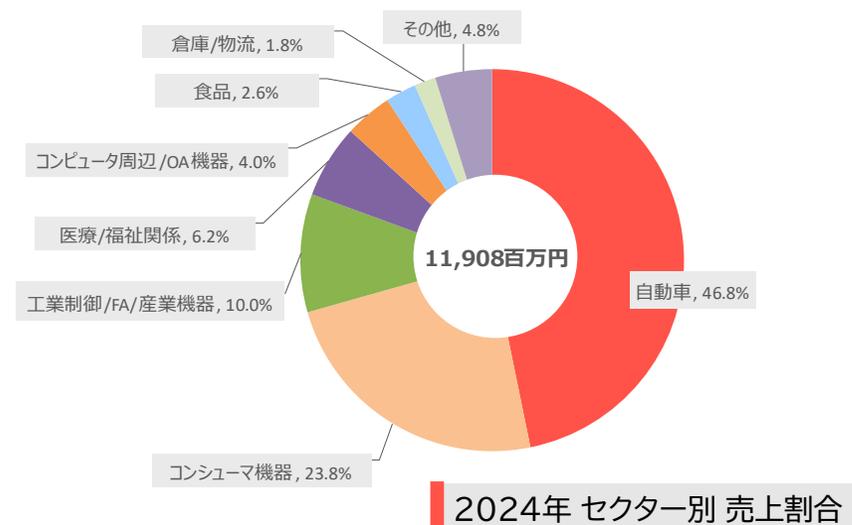
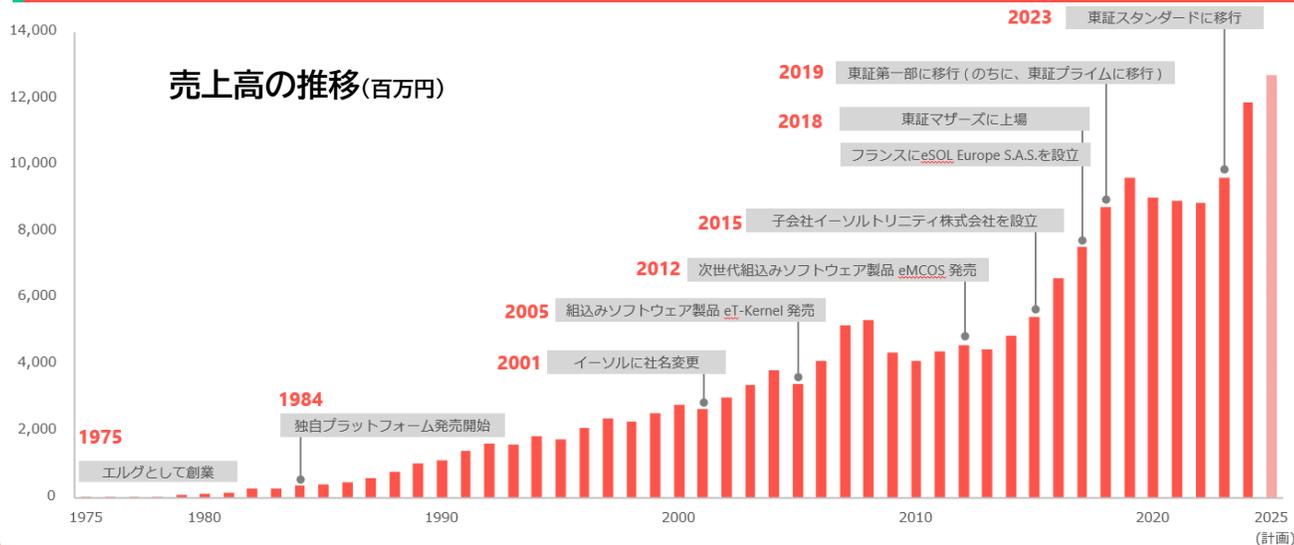
代表取締役社長CEO兼CTO
権藤 正樹

Company Overview

■ 1975年に創業し、変化の激しいソフトウェア業界で持続的に成長



東証スタンダード(証券コード: 4420)



eSOL Group

■ eSOLグループでお客様のシステム開発を包括的に支援



《国内拠点》

イーソル株式会社(95%*) (eSOL Co.,Ltd.)



設立：1975年 5月
代表：代表取締役社長 CEO兼CTO 権藤 正樹
事業拠点：東京本社、大阪、名古屋、さいたま

イーソルトリニティ株式会社(3%*) (eSOL TRINITY Co.,Ltd.)



設立：2015年 3月
株主構成：イーソル株式会社 100%
代表：代表取締役社長 上山 伸幸 (eSOL 常務取締役)
事業拠点：東京本社
事業内容：ハイエンド組込み機器開発支援ツール販売、コンサルテーション、
プロフェッショナルサービス、エンジニア教育

《海外拠点》

eSOL Europe S.A.S.(2%*)

設立：2018年 3月
株主構成：イーソル株式会社 100%
代表：上山 伸幸 (eSOL 常務取締役)
事業拠点：フランス パリ本社
事業内容：欧州における顧客の技術開発、技術支援、マーケティング、サポート

本資料の取扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する内容が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性などを含むため、将来の経営成績などの結果を保証するものではありません。

したがって、実際の結果は、環境の変化などにより、本資料に記載された将来の見通しと大きく異なる可能性があります。

上記のリスクや不確実性には、国内外の経済状況や当社グループの関連する業界動向などの要因が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・事象の発生などがあつた場合においても、当社グループは、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報について、更新・改訂などを行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社グループ以外に関する情報は、公開情報などから引用したものであり、当社グループは当該情報の正確性、適切性などを保証するものではありません。

問い合わせ先

イーソル株式会社
社長室 IR担当

e-mail : esol-ir@esol.co.jp

WEB : <https://www.esol.co.jp/>



Challenge with Passion